



がまごりの未来を一緒に考える
まちづくり市民フォーラム VOL.12



蒲郡青年会議所 70 周年記念事業 GAMAGORI JC Fes 2026 連携企画

防災から広がる まちの未来

～いざという時 助け合える地域の関係づくりを考える～

令和 8 年
11 月 7 日 (土)

12:40～14:00

ボートレース蒲郡
メインステージ

参加無料
手話通訳有り



南海トラフ地震や年々激甚化する豪雨災害。
いざという時に大切な人を守るためには、行政
の支援(公助)だけでなく、地域・企業・学校・
福祉・市民が手を取り合う「助け合いのネット
ワーク」が必要です。

今回のフォーラムは、蒲郡青年会議所 70 周
年記念事業イベントに併せ、楽しみながら防災
を学び、地域との繋がりや世代を超えて支え合
いあなたと家族を守る「地域の関係づくり」で
災害に強いまちづくりを考えるキックオフの機
会とします！



<問合せ> 蒲郡市役所 企画政策課: 0533-66-1162
E-mail: kikaku@city.gamagori.lg.jp

プログラム

- 12:40 天災クイズだ DON!
- 12:50 市長挨拶／総合計画説明
- 12:55 パネルディスカッション

蒲郡青年会議所防災委員長 近藤 彰彦(物資・人的支援)
小江まちカフェ代表 早川 康子(自治会共助)
形原七区総代 佐野 政二(合同防災訓練)

- 13:45 まとめ
- 13:55 市長総評
- 14:00 閉会



全体コーディネーター
高野 雅夫
(名古屋大学大学院教授)



鈴木寿明
(蒲郡市長)

蒲郡青年会議所 2026 年度災害対応準備委員会委員長 近藤 彰彦 氏

蒲郡青年会議所に所属し、今年は災害対応に関する活動の委員長をしています。災害はいつ、どこで起こるか分からないからこそ、平時からの備えや地域を超えて繋がっておくことが大切だと感じています。青年会議所には全国各地の仲間とつながるネットワークがあり、実際の災害支援でもその繋がりが力になります。地域の一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を持ちながら、地域を超えて支え合える仕組みについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

小江まちカフェ代表 早川 康子 氏

思った事をやってみようと地域や学校を巻き込み「顔つなぎ」活動を展開中。

主な活動は「がまん食堂」と、小学校と協働の「がまん畑」。

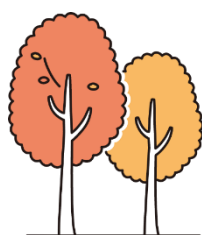
また、「小江まち防災」メンバーとして、2020年まで小江地区にて防災講座を開催。敬老会のお土産に小学校の児童からの「寝室にタンスを置かないで」のお手紙を添える。福祉避難所の防災訓練にも毎年参加。

町内では、災害時に「町内の行方不明者を0にしたい」と「タオル掛け」を使った安否確認を企画し小江町にて毎年行っています。

形原七区総代 佐野 政二 氏

形原生まれの形原育ち、任期2年の形原七区総代の2年目です。総代になって初めて防災訓練を計画する立場となりました。訓練を計画し、それを実行に移し、後で検証する。この流れはあくまでも想定内での計画であり、それに沿って行動するのも予定通りであります。予定通りの訓練を繰り返し行い、体で覚えて行くのも大切な方法であります。しかし、近年の災害を報道等で見ていると“想定外”という言葉の多さが気になります。

地震や水害もそうですが、過去に記録も経験も無い災害が多く発生しています。これからは私たち皆が災害は“想定外”でやってくるという意識を常々持つ事が大切と考えます。



その他の楽しいイベントの最新

情報や詳細はこちらから！

